

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2022年7月号

2022年7月4日  
(一財) マイクロマシンセンター  
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例経済報告 より
  - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

### 1. 全般動向

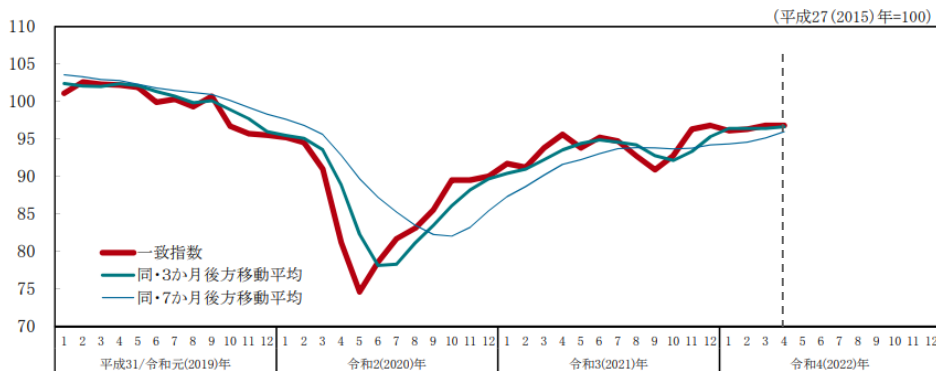
#### ■ 景気動向指数 (速報、改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和4(2022)年4月分速報からの改訂状況 (令和4(2022)年6月27日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202204rsummary.pdf>

- ① 4月分CI (平成27(2015)年=100) (改訂値)は、  
先行指数：102.9、一致指数：96.8、遅行指数：96.4
- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI一致指数) は、改善を示している。

	4月分CI (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	102.9	102.9
一致指数	96.8	96.8
遅行指数	96.7	96.4

一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和4(2022)年4月分 (速報) (6月7日公表)」pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202204psummary.pdf>

(公表資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202204report.pdf>

## 2. 各経済指標

### ■ 月例経済報告（6月）（内閣府、令和4年6月20日 公表）

（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/06kaigi.pdf>

### <日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

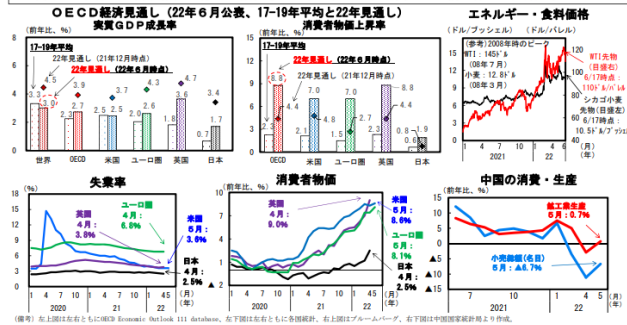
- ・ 景気は、持ち直しの動きがみられる。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。

#### 今月のポイント(3) 世界経済

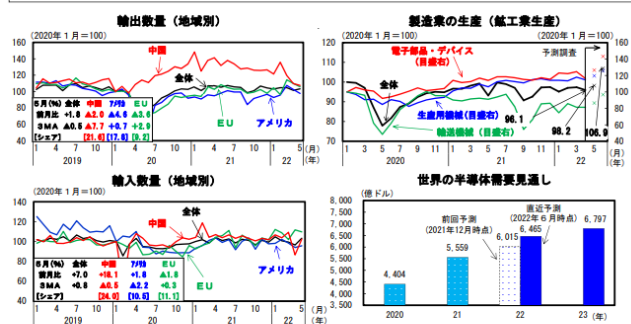
- ▶ 世界の景気は、中国において足踏みがみられるものの、持ち直し。OECD見通しでは22年の世界成長率は3.0%と、コロナ禍前と同程度の見込み。ただし、ウクライナ情勢を背景に成長率は下方修正。OECD諸国の22年のインフレ率は8.8%と34年ぶりの高い伸びとなる見込み。
- ▶ 足下の消費者物価は、欧米では前年比8~9%と、一段と上昇。失業率は引き続き低下傾向。この下で、世界的に金融政策の正常化が引き続き進展。
- ▶ ウクライナ情勢の長期化が懸念される中で、エネルギー、食料価格は引き続き高水準で不安定な動き。
- ▶ 中国では、厳しい防疫措置が徐々に緩和される中で、生産、消費は引き続き伸びが足踏み。



（備考）左上図は右図とともにIMF Economic Outlook 111 database、左下図は右図とともにIMF統計、右上図はブルームバーグ、右下図は中国国家统计局より作成。

#### 今月の指標(3) 輸出入・生産

- ▶ 我が国の輸出は概ね横ばい。アメリカや欧州向けは、持ち直しの動きがみられる一方、中国は6月も減少。輸入は、中国の活動制限の影響の緩和などから下げ止まり。
- ▶ 生産は持ち直しの動きに足踏み。供給制約等により、輸送機械は持ち直しに足踏み。また、電子部品・デバイスも、中国の活動制限の影響などから増勢が鈍化しているものの、世界の半導体の需要見直しは、2022年は上方修正され、2023年も一層の増加が見込まれるなど、半導体製品に対する強い需要は今後も続く見込み。



（備考）1. 左図は財務省「貿易統計」により作成。内閣府による季節調整値。  
2. 右図は、経済産業省「製造業生産」による作成。季節調整値。予測値は、2021年12月の前月の平均的な修正パターンを加味した値。  
3. 右図は、WSTS「世界半導体市場概況」により作成。

- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和4年6月）」（pdf）：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2022/0620getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

■ 設備投資 令和4年4月実績：機械受注統計調査報告  
 (令和4年6月15日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

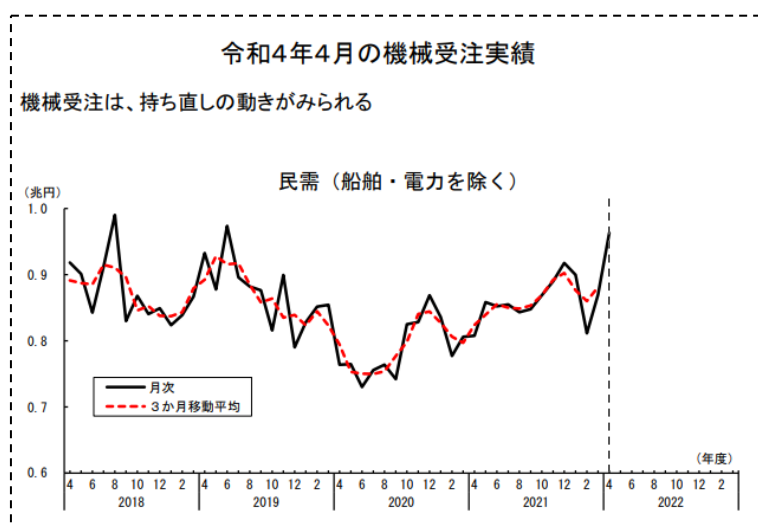
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2204juchu.html>

調査結果の概要 (季節調整値) :

1. 機械受注総額の動向をみると、  
2022 (令和4) 年3月前月比2.5%増の後、4月は同33.6%増の3兆3,661億円となった。
2. 需要者別にみると、  
民需は前月比23.8%増の1兆1,486億円、官公需は同6.6%減の3,349億円、外需は同52.1%増の1兆6,555億円、代理店は同3.7%増の1,213億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、  
2022 (令和4) 年3月前月比7.1%増の後、4月は同10.8%増の9,630億円となった。このうち、製造業は同10.3%増の5,014億円、非製造業 (除く船舶・電力) は同8.9%増の4,688億円となった。

(以下図表は「令和4年4月の機械受注実績 概要 (PDF版)」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2022/2204gaiyou.pdf>



対前月(期)比

(単位: %)

需要者	2021年 (令和3年)			2022年 (令和4年)		2022年 (令和4年)			
	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 見通し	1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額	2.1	1.5	9.0	△9.7	5.2	△3.3	△10.6	2.5	33.6
民需	7.5	△0.9	14.1	△13.9	1.3	△9.9	△6.4	△0.4	23.8
〃 (船舶・電力を除く)	4.1	1.1	5.1	△3.6	△8.1	△2.0	△9.8	7.1	10.8
製造業	11.1	7.2	3.1	0.8	△0.1	△4.8	△1.8	7.1	10.3
非製造業 (除く船舶・電)	△0.9	△3.6	6.8	△8.1	△12.1	△1.9	△14.4	11.0	8.9
官公需	△0.5	5.9	3.6	△2.8	△8.8	△13.6	△5.3	61.9	△6.6
外需	0.3	4.1	1.7	△6.6	15.4	0.9	△2.8	△14.2	52.1
代理店	9.3	2.0	1.4	△11.3	11.6	1.4	△18.6	22.9	3.7
民需 (船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	△2.9	△1.8	2.5	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。  
 2. △印は減少を示す。  
 3. 見通しは2022年3月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：  
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

## ■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2022年6月30日発表)

### 【2022年5月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202205sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202205sj.pdf)
- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015\\_202205sj.html](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202205sj.html)

#### ー 生産は弱含み ー

- ・ 今月は生産、出荷、在庫は低下、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、6月、7月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は弱含んでいる。

#### ・生産は、前月比-7.2%の低下。

低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、生産用機械工業等  
上昇業種：無機・有機化学工業、石油・石炭製品工業

#### ・出荷は、前月比-4.3%の低下。

低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、汎用・業務用機械工業等  
上昇業種：石油・石炭製品工業、無機・有機化学工業、電子部品・デバイス工業

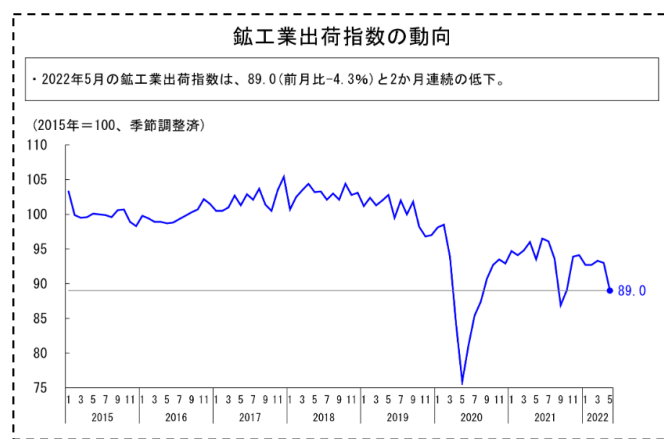
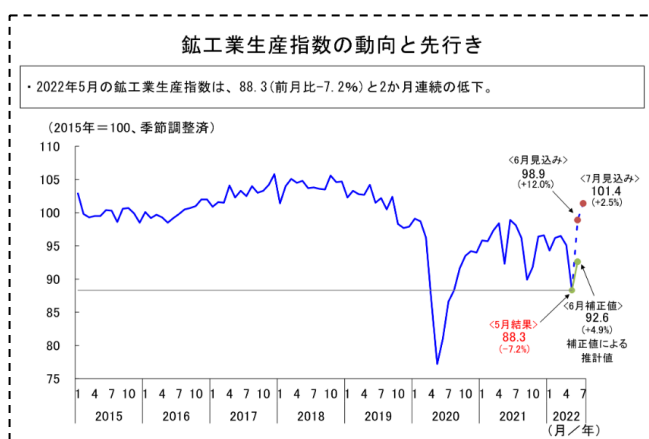
#### ・在庫は、前月比-0.1%の低下。

低下業種：自動車工業、化学工業(除、無機・有機化学工業・医薬品)、  
電気・情報通信機械工業等  
上昇業種：汎用・業務用機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、その他工業等

### 5月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20220630\\_1.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20220630_1.html)

(解説) 5月の鉱工業生産は、引き続き中国でのロックダウン等の影響を受けて、自動車工業など多くの業種で低下したことから、全体として前月比マイナス7.2%と、2か月連続の低下。基調判断は、「生産は弱含み」に引き下げ。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2022年6月30日発表より抜粋)

#### 【2022年4月動向概況】

- ・ 2022年4月のグローバル出荷額は3,484億円、前年比99.4%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比101.2% 1,714億円）、接続部品（同97.5% 797億円）、変換部品（同108.9% 516億円）、その他の電子部品（同87.7% 456億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比102.2% 746億円）、米州（同122.6% 404億円）、欧州（同100.9% 338億円）、中国（同83.2% 1,142億円）、アジア・その他（同115.6% 851億円）となった。

#### 【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2022.06.30 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	4月		5月		6月		4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
世界計	3,484	99					3,484	99
(日本)	746	102					746	102
品目別	受動部品	1,714	101				1,714	101
	コンデンサ	1,217	100				1,217	100
	抵抗器	161	107				161	107
	トランス	40	113				40	113
	インダクタ	254	97				254	97
	その他	40	117				40	117
	接続部品	797	97				797	97
	スイッチ	302	90				302	90
	コネクタ	492	102				492	102
	その他	2	93				2	93
	変換部品	516	108				516	108
	音響部品	22	81				22	81
	センサ	204	92				204	92
	アクチュエータ	289	128				289	128
	その他の電子部品	456	87				456	87
	電源部品	202	105				202	105
高周波部品	253	77				253	77	

#### 【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額  
«2022年度»

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	4月		5月		6月		4月-4月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,484	99					3,484	99
日本	746	102					746	102
米州	404	122					404	122
欧州	338	100					338	100
中国	1,142	83					1,142	83
アジア他	851	115					851	115

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ [https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上